

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	学務課担当課長	池田 徹
教育-29 中学校給食事務		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	学務課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針	教育内容・教育環境の充実

1 事業の目的

対象	市立中学校に就学する生徒
意図	中学校の完全給食を実施するため。
効果	生徒の心身の健全な発達の促進を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度からの中学校給食全校実施に向けての基盤整備を行った。</li> <li>生徒に栄養バランスのとれた給食を提供するための献立作成の準備を行った。</li> <li>中学校給食を民間調理事業者の活用により実施するため、委託業者の選定を行った。</li> </ul>
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
	事業の対象者数	3,447人	3,465人	3,465人	事業の対象者数	3,504人		
運営資源状況	決算値(千円)		756	756	当初予算(千円)	37,172		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	0	756	756	一般財源	37,172		
	人員配置数		2.2	2.2	人員配置数	2.4		
	人件費(千円)		17,045	17,045	人件費(千円)	18,722		
事業運営	総事業費(千円)	0	17,801	17,801	総事業費(千円)	55,894		
	市民1人当りの経費(円)		100	100	市民1人当りの経費(円)	316		
	対象者1人当りの経費(円)		5,137	5,137	対象者1人当りの経費(円)	15,951		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	中学校給食の実施へ向け、調理業務や予約システムに係る委託料や消耗品・備品購入費等の経費が新たに必要になる。		
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	平成29年2学期からの事業実施に伴い、準備段階で多額の初期導入費を要するが、内容や手法を精査し適正な予算執行に努める必要がある。また、今後、準備を進める中でも、費用対効果を十分に意識しながら、より多くの生徒に喫食してもらえる給食提供に取り組んでいく。
-------------------	---

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理配送業務を着実に遂行できる民間事業者の選定。</li> <li>実施に向けて想定される学校現場における諸課題への対応。</li> </ul>	
課題解決のために行った平成27年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>公募型プロポーザルにより、学校給食について豊富な経験を有する委託事業者を選定した。</li> <li>中学校の学校関係者を構成員として協議・調整を行う「鎌倉市立中学校給食実施検討会」を設置し、協議に着手した。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食の事前予約や給食費収納を行う「給食予約等管理システム」の導入に係る委託事業者の選定。</li> <li>安全安心な給食事業が開始できるよう、引き続き鎌倉市立中学校給食実施検討会で協議を行う。</li> </ul>	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	中学校給食を実施している県内自治体								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	×	○	×	×	○	×	×	○	○

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	神奈川県は全国最下位の実施率(H26.5)であるが、近隣市での導入が進んでおり、平成29年度の実施へ向けて積極的な取組を推進していく。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	生徒の喫食率	単位	%	指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
栄養バランスのとれた昼食を提供することにより、生徒の健康保持増進を図るとともに食育を推進するため	目標値				60%	60%	60%
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--

● 事業に関する特記事項

<input checked="" type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---